

## 海外インターンシッププログラム

派遣国・都市名	アメリカ・ワシントン州シアトル市
研修先	兵庫県ワシントン州事務所
プログラム実習期間	2012年8月20日～9月11日
学部/研究科・学年	経営学部 4年

### インターンシップ就業実習 報告書

今回兵庫県ワシントン州事務所でのインターンシップは、秋祭りをメインとし、いくつかの業務に携わりました。その中で、たくさんの貴重な経験ができ、社会人になるのを目前に控え、学ぶこともとても多かったです。

第一週目は、働き始めて次の日にマリナーズの JAPAN NIGHT がありました。この日は、上司のベンジャミンさん発案の日本式の野球の応援をするということになっていました。私たちは、働き始めた日から、応援歌やハチマキ、応援旗、日本式の応援の宣伝の紙などを急いで準備し、試合に臨みました。日本の応援とは違い、アメリカはみんなでも応援歌を歌うことはなく、どちらかというと静かに試合を見守るタイプの応援です。初めての試みということもあり、最初は上手くいったとは言えませんが、試合も終盤になってくると、周りの人たちも少しずつ私たちの応援に参加してくれ、とても盛り上がって楽しむことができました。この日はその少し前に完全試合を達成したフェルナンデス投手が登板する試合ということもあり、試合自体もとても見応えがあるものでした。見事マリナーズが勝利し、皆で帰っている最中に、「今日の応援よかったよ」という言葉をかけてくれる人もおり、とてもほっとしました。内心、全く違う応援文化の中で、日本の応援が受け入れてもらえるのかとても心配していたからです。私たちの中でも、もちろんベンジャミンさんの中でも挑戦であった今回の応援は、成功だったのではないかと思います。

その次の日からは、秋祭りの準備に取り掛かりました。今回は前年までと違ってテーマが何も与えられていなかったため、ブースでどのような展示をし、どのような出し物をするかということを一から話し合いました。私たちの他にももう1人他大学の学生を含め、4人が秋祭りの担当でした。他にも神奈川の大学から2人、神戸市の大学から1人がインターンシップに参加していましたが、その学生たちは別のプロジェクトに取り組んでいました。この事務所ではインターン生をよく受け入れているようですが、ここまで多くの人数を一度に受け入れたのは今回が初めてだそうです。秋祭りの話し合いでは、一人ひとりがしっかりと意見をもっており、それゆえになかなかまとまらないという状況を経験し、チームで何か一つのものを作る難しさを感じました。

第二週目に入り、私たちは兵庫県についての展示、ゲーム、写真ブース、パフォーマンスという大体の出し物を決め、一人ひとりが担当につき準備を進めていきました。兵庫県の展示については、自然、歴史、モダンカルチャー、食べ物と言う4つのテーマに分けて割り振り、リサーチもすることにしました。私はゲームを担当し、主に子供を対象とし、どんなゲームがいいか考えていきました。最終的に兵庫県のマップの輪投げを作ることに決め、制作に取り掛かりました。この業務のほかに、はばタン日記や Speech&Skit、普段のデイリーニュースといった仕事もしました。はばタン日記は、兵庫県ワシントン事務所のホームページの企画の一つであり、シアトルの名所をはばタンが実際に訪れるといったコンセプト

トの記事です。実際にその場所に行き、はばタンの写真を撮り、その日記の記事を書くのが私たちの仕事でした。2つのグループに分け、もう一人のインターン生と一緒にテオチョコレート工場見学に行っていました。シアトルの会社について知る機会を頂け、普段の業務とはまた違う経験ができ、とてもよかったです。Speech & Skitについては、アメリカ人向けの日本語スピーチおよびスキットの大会で、その大会でいつも好成績をおさめている学校の先生方に、どのようなことが好成績に結びついているのかメールを送り調査するという内容の仕事でした。私たちが滞在中に返答を実際に頂くことはできませんでしたが、またどのような結果になったかをご連絡いただけるということでした。どんなことを聞くのが効果的かということを考え、意見を出し合い、そこで、お互いの考えた多様な質問からいろいろと学ぶことができました。普段の業務としては、デイリーニュースという仕事もありました。シアトルの新聞から気になった記事を3つ取り上げ、日本語に訳しました。英語のとてもいい勉強になりました。

そして、3週目の週末に、秋祭りの本番を迎えました。大きなイベントが今年からなくなったそうで、去年よりも全体的な人の数は減っていたそうです。しかし、私たちのブースはたくさんの人に来ていただくことができました。私の担当していた輪投げも子供達にとっても人気で、たくさんのリピーターもいました。途中で景品が少なくなり、何度もみんなで折り紙を折っていました。兵庫県のマップだったこともあり、それに興味を持つ人もおり、何度か兵庫県に関しての質問を受けました。自分の担当したものでたくさんの方が楽しんでいるのを見て、達成感を感じました。パフォーマンスとして、ラジオ体操や阪神の応援(ラッキーセブン)をしました。ジェット風船を飛ばすときには、たくさんの方が一緒になって参加してくれ、感動しました。

私は、インターンシップの中でビジネスのことも見てみたいという希望を当初から口にしていました。それを受けて事務所の方が、4週目にアメリカの企業のオフィス見学、コミュニティカレッジであったキャリアについてのレクチャーに連れて行ってくださいました。日本のオフィスとは違った雰囲気を感じたり、社員の方にお話を聞いたりすることができました。またレクチャーについては、私の専門であるキャリアについての話を聞けたうえ、コストコの創業者の方の話もあり、本当に貴重な場を頂きました。

長いと思っていた4週間は、本当にあっという間でした。自分のこれからの課題も見つけることができ、たくさん勉強させていただきました。

## 感想および意見

今回の1か月のシアトルでのインターンシップは本当に短かったです。でもその分濃いものにできたのではないかと考えています。学ぶことがとても多い1か月間で、この機会を頂けたことにとっても感謝しています。

私は今回のプログラムを通し、1つ自分の成長点を発見し、2つの教訓を得ました。私は、1回生の時にオーストラリアで語学研修をし、ホームステイを経験しています。今回も同じく海外で生活し、ホームステイをしていましたが、オーストラリアの時に比べ、はるかに英語の理解力、自分の海外での生活への適応力が上がっていることに気づきました。以前はなじむことに精いっぱいでした。滞りが終わってしまったのですが、そこをクリアすることによってはるかにたくさんの経験ができたと思っています。大学4年間を通して努力してきた自分の成長を知ることができたことは、自信にもつながりました。1か月間

でさらに英語力などを伸ばそうというモチベーションにもなりました。ホストファミリーともいろんな話をしました。映画の話から、政治、シアトルの話など、話題自体の知識はもちろんのこと英語の言い回しなども、とても勉強になりました。

得た教訓の一つは、積極性が重要だということです。日本だと厚かましいかな、と思って言わないようなことでも発信していかないとだめだということに気づきました。発信していかないと相手には伝わりません。今回、私たちは秋祭りをメインでやるということになっていましたが、私は実際のビジネスのこともしたいとオフィスの方をお願いしていました。結局時間の都合で本格的に携わることはできませんでしたが、アメリカのIT企業のオフィス見学とコミュニティカレッジでのレクチャーの誘いを頂くことができました。オフィスの方には「せっかく来たんだから自分のしたいことを、どんどん言わないともったいない。相手に伝わらないよ。」という言葉をかけていただきました。自分が希望したことによって、機会を頂くことができたので、言ってみてよかったと実感しています。兵庫県ワシントン州事務所では、正直インターン生のする仕事は多くありませんし、限られています。自分から何かをしたい、見せてほしいという積極性が重要だと感じました。「これがしたい」と言ったことに対して、オフィスの方は真剣に考え、協力していただきます。また、秋祭りでも少し違った積極性が重要とされました。私たちのブースがお祭りの中心から離れていることもあり、お客さんがなかなか来ない時間がありましたが、積極的に声をかけていくことがなかなかできずにいました。近くを歩く人たちに呼び掛けることや、パフォーマンスを宣伝して回ることで、徐々に人が訪れるようになりました。自分の思いを積極的に伝えていくことは、これから生きていくうえでもとても大事なことだと感じました。

もうひとつの教訓は、グループワークに関してです。チームで何かを成し遂げる難しさを、ひしひしと感じました。今回は秋祭りのブースのテーマが何も設定されていなかったため、全くの白紙の状態から計画をスタートさせました。個人の思いが様々だったので、結論を出すまでにとっても時間がかかりました。まずは相手の話を聞く、その上で自分の意見を言う、また、意見には根拠をつける、ということがチームで活動するのに重要な鍵だと感じました。当たり前なことですが、私自身頭ではわかっていましたが、今回のインターンシップではその重要性を肌で感じました。インターンシップ中には、それについて一番気をつけ、伸ばせたのではないかと思います。

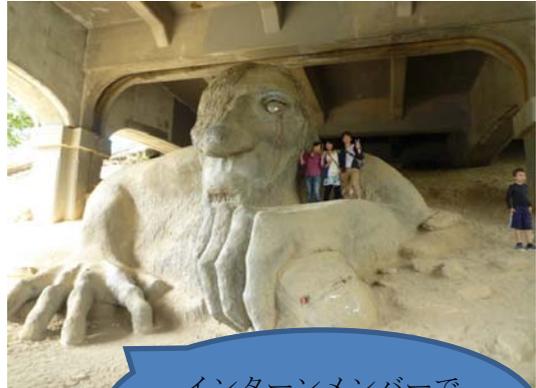
もちろん、他にもたくさん学んだことがあります。私が今回立てていた目標の一つに、日本、兵庫のことをきちんと紹介していきたいというものがありました。それには、今までに参加した海外でのプログラムにおいて、上手く説明できなかったという悔しい経験があったからです。事前に兵庫について調査し、秋祭りの時には、ブースに来てくださった方に、興味を持ってもらうように説明できたのではないかと思います。まだまだ足りない部分も見つけることが出来たのでこれからの課題にしたいと思います。アメリカの社会についても垣間見ることができました。普通に生活していて、挨拶をよくして気持ちがいいですし、人はとても友好的です。しかし、思っていたよりも差別があるというのが、私の中の印象です。1か月という期間アメリカに滞在したのは初めてで、いろんな面を見ることができたと思っています。また、人生の先輩であるオフィスの方々との話は自分のキャリアを考える上でとても参考になりました。

このシアトルのプログラムの参加できて本当によかったです。学生最後の夏休みという時期もとてもよかったと思っています。実際社会に出て働くには、まだ足りていない自分の課題など、自分を見つめ直すいい機会が持てました。これからも努力していきたいと思っています。

このような機会を提供してくださった、神戸大学、兵庫県国際交流協会、兵庫県ワシントン州事務所の方々にはとても感謝しています。本当にありがとうございました。



ホストマザーと、同じくホームステイ  
をしていた台湾人の女の子とスノコル  
ミーの滝を観光！



Japan Night で SAFCO FIELD へ  
マリナーズの試合観戦

インターンメンバーで  
フリーモントを観光



オフィスの様子★

秋祭りの様子

